

< 熱媒体循環（金型）温度調節機 2009年6月26日現在 >

水用熱媒体循環（金型）温度調節機には従来からアスベストを含む部品は使われていません。

2005年12月以降に製造された油用熱媒体循環（金型）温度調節機についてはアスベストの含有材料はありません。それ以前に製造された油用熱媒体循環（金型）温度調節機のアスベスト含有材料の使用状況は以下の通りです。

尚、使用されているアスベストはクリソタイル(白石綿)です。また、ジョイントシートはアスベストを合成ゴム等の結合材で固めた材料ですから、アスベストの飛散はなく、石綿障害予防規則は適用されておりませんので、すぐに取り去り交換する必要はありません。

1. 水用熱媒体循環（金型）温度調節機

水用熱媒体循環（金型）温度調節機には従来からアスベストを含む部品は使われていません。

型 式	型式の表示
KCTシリーズ	KCT- MD, KCT- LD
KCWシリーズ	KCW- fz, KCW- H z, KCW- f, KCW- H
TW-LD,MDシリーズ	TW- LD,MD
TWDSシリーズ	TWDS- MD, HDN, HHDN, HHDN/B
TW/TW-000E型	1985年5月以前のY型ストレーナはアスベスト含有の可能性あり
TWA/B/C型	1985年5月以前のY型ストレーナはアスベスト含有の可能性あり
KCT シリーズ	KCT - MD, KCT - LD
KCW シリーズ	KCW - fz, KCW - H z
KCTシリーズ	KCT- HHDN, KCT- HHDN/B
TWFシリーズ	TWF- MD/LD
TWKシリーズ	TWK- MD
TWFシリーズ	TWF- HHDN, HHDN/B

2. 油用熱媒体循環（金型）温度調節機(最高使用温度200 以下)

最高使用温度200 以下の油用熱媒体循環（金型）温度調節機には、オプションであるバルブとストレーナのパッキン、ガスケットを除き、従来からアスベストを含む部品は使われていません。それらも2004年11月以降製造のものでは不使用となりました。

型 式	型式の表示
KCO-Lシリーズ	KCO-2003L/4006L/6009L
KCO-Mシリーズ	KCO-4006M
KCO-MNシリーズ	KCO-4006MN
TO型	1985年5月以前のTO-75はユニオンパッキンにアスベスト含有の可能性あり
KCO -Lシリーズ	KCO -2003L/4006L/6009L
KCO -MNシリーズ	KCO -4006MN/13509MN

3. 油用熱媒体循環（金型）温度調節機(最高使用温度が200 を超えるもの)

最高使用温度が200 を超える油用熱媒体循環（金型）温度調節機にはアスベストを含む部品が使われています。用途は断熱材、ガスケットおよびパッキンです。オプションであるバルブとストレーナのパッキン、ガスケットに関しては、2004年11月以降製造のものでは不使用となりました。

型 式	型式の表示
KCO-Hシリーズ	KCO-4012H/9012H/15012H
KCO-HHシリーズ	KCO-4018HH/15018HH/25018HH/35026HH/35039HH
KCO -HNシリーズ	KCO - HN
KCO -HHシリーズ	KCO - HH

バルブ以外で使われているアスベストを含む部品

型 式	部 品 名	取付箇所	アスベスト含有部品のメーカー型番
KCO-Hシリーズ	ポンプケーシング用ガスケット		V#1500およびV#930
	ヒーター用フランジ		V#1500またはV#931
	配管フランジ		V#1500またはV#931
	挟み込み断熱材	膨張タンク下 ポンプ下 ヒーターボックス下 配管用断熱材	V#1500またはV#931
KCO-HHシリーズ	挟み込み断熱材	膨張タンク下 ポンプ下 ヒーターボックス下 配管用断熱材	V#1500
KCO -HNシリーズ	ヒーター用フランジ		V#1500
	配管フランジ部ガスケット		V#1500
	挟み込み断熱材	膨張タンク下 ポンプ下 ヒーターボックス下 配管用断熱材	V#1500
KCO -HHシリーズ	挟み込み断熱材	膨張タンク下 ポンプ下 ヒーターボックス下 配管用断熱材	V#1500

注) V#930, V#931, V#1500は日本バルカー工業(株)殿の製品の型番です。これらは平成16年10月1日施行の改正労働安全衛生法施行令で使用が禁止されている石綿含有製品には該当しません。したがって、今すぐこれらを取り去り交換する必要はありません。